

大分県子どもの生活実態調査（子ども・保護者）結果の概要

大分県では、すべての子どもたちが夢と希望を持って健やかに成長していけるような社会の実現に向け、必要な支援策等を検討するため、県内全市町村の小・中学校と連携して、子どもの生活実態や学習環境、子どもの意識、世帯の経済状況や子どもとの関わり方等について調査しました。

調査は小学校5年生・中学校2年生とその保護者を対象として実施しました。

調査の概要

区 分		小学校5年生の家庭	中学校2年生の家庭	計
調査対象者数	子ども	10,360人	9,600人	19,960人
	保護者	10,360人	9,600人	19,960人
小計		20,720人	19,200人	39,920人
有効回答数 (回答率)	子ども	9,139人 (88.2%)	8,405人 (87.5%)	17,544人
	保護者	8,779人 (84.7%)	7,943人 (82.7%)	16,722人
小計		17,918人	16,348人	34,266人
調 査 方 法		学校配布・回収 無記名 密封調査		
調 査 時 期		令和元年9月		

【収入階層による世帯の呼称について】

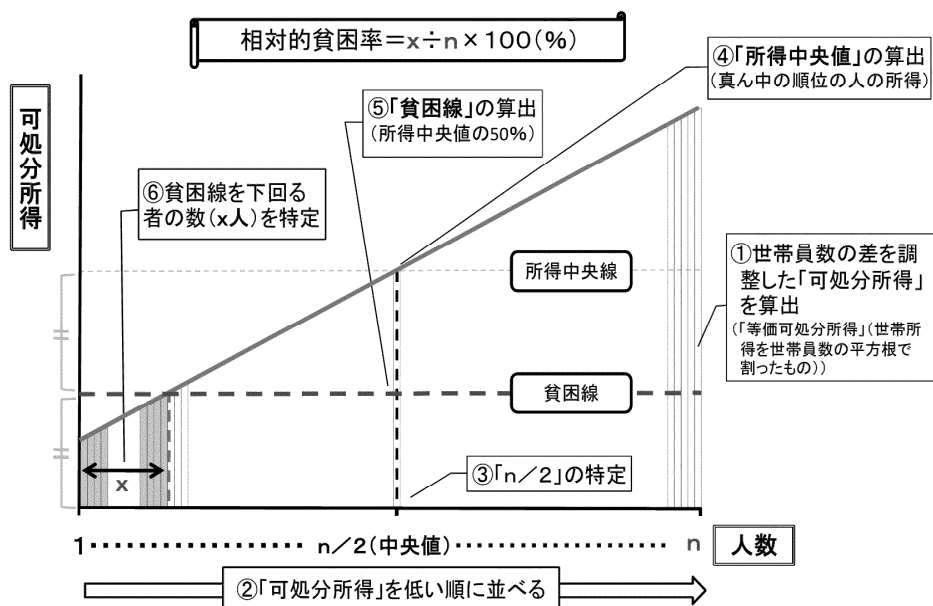
子どもの貧困対策を検討するに当たっては、世帯の経済状況と子どもの生活状況との関連を把握することが必要と考え、本調査では、世帯の収入を基準として世帯を分類しました。具体的な基準の設定の方法は以下に示すとおりです。

なお、本調査では、世帯の収入額については、回答者の負担感軽減等を考慮し、前年中の収入を50万円の幅を持たせた選択肢で回答を求めたため、選択肢の上限値と下限値の中央値を世帯の収入としています。

- (1) 同居している家族人数（保護者用 問4）及び世帯年収（保護者用 問15）に関する設問に対する回答に基づき、当該世帯の収入を同居している家族人数の平方根で割った金額を算出しました。
- (2) (1)で算出した金額を高い順に並べ、その中央値（257.2万円）の二分の一の金額（128.6万円）以上の世帯を「収入階層①」とし、世帯の呼称を「世帯区分1」としました。
- (3) また、(2)以外の世帯（128.6万円未満の世帯）を「収入階層②」とし、世帯の呼称を「世帯区分2」としました。

収入階層	収入の範囲	世帯の呼称	割合
収入階層①	128.6万円以上	世帯区分1	87.8%
収入階層②	128.6万円未満	世帯区分2	12.2%

今回の世帯の収入階層の設定にあたっては、国の相対的貧困率の算出方法を参考にしました。国の相対的貧困率の算出方法は以下の図のとおりです。



※今回の世帯分類の基準は、世帯の経済状況と子どもの生活状況との関連を把握するためのものであり、本県の子どもの貧困率を算出するためのものではありません。

【家族形態による世帯の呼称について】

- (1) 世帯人員の設問（保護者用 問 4）に対する回答に基づき、子どもと同居している親が母親または父親の一方だけだと判断できる世帯を「家族形態①」とし、世帯の呼称を「ひとり親世帯」としました。
- (2) 同様に、子どもと両親等が同居している世帯を「家族形態②」とし、世帯の呼称を「非ひとり親世帯」としました。

家族形態	世帯の呼称
家族形態①	ひとり親世帯
家族形態②	非ひとり親世帯

【経済的困難度による世帯の呼称について】

- (1) 過去1年間における経験の設問（保護者用 問 16 但し、③⑬を除く）で、該当する項目が2つ以上あると回答した世帯を「経済的困難度①」とし、世帯の呼称を「困難世帯」としました。
- (2) 同様に、該当する項目が1つある又はないと回答した世帯を「経済的困難度②」とし、世帯の呼称を「非困難世帯」としました。

経済的困難度	世帯の呼称
経済的困難度①	困難世帯
経済的困難度②	非困難世帯

1 子どもの生活環境

① 朝食を摂取する頻度（子ども問 6）

- 小学生及び中学生ともに「毎日」が8割以上を占めているが、世帯区分2は世帯区分1より、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より、困難世帯は非困難世帯より「毎日」の割合が低くなっている。

朝ごはんを「毎日」食べると答えた児童生徒の割合

- ・小5 世帯区分1：89.3%、世帯区分2：80.4%、全体：87.5%
- ・中2 世帯区分1：84.3%、世帯区分2：76.6%、全体：82.5%

朝ごはんを「毎日」食べると答えた児童生徒の割合

- ・小5 ひとり親世帯：82.4%、非ひとり親世帯：89.2%、全体：87.5%
- ・中2 ひとり親世帯：77.3%、非ひとり親世帯：84.6%、全体：82.5%

朝ごはんを「毎日」食べると答えた児童生徒の割合

- ・小5 困難世帯：76.2%、非困難世帯：89.7%、全体：87.5%
- ・中2 困難世帯：72.2%、非困難世帯：85.1%、全体：82.5%

② 一週間の入浴頻度（子ども問 10）

- 小学生及び中学生ともに「毎日」が9割以上を占めているが、世帯区分2は世帯区分1より、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より、困難世帯は非困難世帯より「毎日」の割合が低くなっている。

お風呂（シャワーだけでもふくむ）に入るのは「毎日」と答えた児童生徒の割合

- ・小5 世帯区分1：94.7%、世帯区分2：87.9%、全体：93.7%
- ・中2 世帯区分1：97.3%、世帯区分2：92.8%、全体：96.6%

お風呂（シャワーだけでもふくむ）に入るのは「毎日」と答えた児童生徒の割合

- ・小5 ひとり親世帯：90.2%、非ひとり親世帯：94.7%、全体：93.7%
- ・中2 ひとり親世帯：94.7%、非ひとり親世帯：97.1%、全体：96.6%

お風呂（シャワーだけでもふくむ）に入るのは「毎日」と答えた児童生徒の割合

- ・小5 困難世帯：89.1%、非困難世帯：94.6%、全体：93.7%
- ・中2 困難世帯：92.9%、非困難世帯：97.3%、全体：96.6%

③ 家族との会話頻度（子ども問 18⑥学校での話）

- 小学生は「毎日」が49.0%、中学生も「毎日」が38.2%と最も高いが、小学生及び中学生ともに、困難世帯は非困難世帯より「毎日」の割合が低くなっている。

家族と学校の話をするについて「毎日」と答えた児童生徒の割合

- ・小5 世帯区分1：50.5%、世帯区分2：45.5%、全体：49.0%
- ・中2 世帯区分1：39.4%、世帯区分2：34.1%、全体：38.2%

家族と学校の話をするについて「毎日」と答えた児童生徒の割合

- ・小5 ひとり親世帯：47.7%、非ひとり親世帯：50.1%、全体：49.0%
- ・中2 ひとり親世帯：34.6%、非ひとり親世帯：39.8%、全体：38.2%

家族と学校の話をするについて「毎日」と答えた児童生徒の割合

- ・小5 困難世帯：44.5%、非困難世帯：50.3%、全体：49.0%
- ・中2 困難世帯：31.4%、非困難世帯：40.0%、全体：38.2%

④ 子どもが放課後に過ごす主な相手（子ども問 12-1）

- ・小学生は「家族のおとな」が 42.6%と最も高く、中学生は「部活動・クラブ活動の友だち」が 31.1%で最も高い。また、一人で過ごす子どもの割合は、世帯区分2は世帯区分1より、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より、困難世帯は非困難世帯より高くなっている。

平日の放課後、一人で過ごす児童生徒の割合

- ・小5 世帯区分1：7.1%、世帯区分2：7.5%、全体：6.9%
- ・中2 世帯区分1：8.3%、世帯区分2：8.9%、全体：8.7%

平日の放課後、一人で過ごす児童生徒の割合

- ・小5 ひとり親世帯：8.7%、非ひとり親世帯：6.5%、全体：6.9%
- ・中2 ひとり親世帯：12.5%、非ひとり親世帯：7.6%、全体：8.7%

平日の放課後、一人で過ごす児童生徒の割合

- ・小5 困難世帯：8.6%、非困難世帯：6.7%、全体：6.9%
- ・中2 困難世帯：10.4%、非困難世帯：8.2%、全体：8.7%

2 子どもの教育について

① 学校の授業がわからないと思うことがあるかどうか（子ども問 24）

- ・小学生及び中学生ともに、世帯区分2は世帯区分1より、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より、困難世帯は非困難世帯より、『ある』（「よくある」と「ときどきある」の合計）の割合が高くなっている。

学校の授業がわからないと思うことが「よくある」と答えた児童生徒の割合

- ・小5 世帯区分1：8.9%、世帯区分2：15.5%、全体：10.0%
- ・中2 世帯区分1：14.6%、世帯区分2：23.5%、全体：16.6%

学校の授業がわからないと思うことが「よくある」と答えた児童生徒の割合

- ・小5 ひとり親世帯：12.8%、非ひとり親世帯：9.1%、全体：10.0%
- ・中2 ひとり親世帯：20.5%、非ひとり親世帯：14.9%、全体：16.6%

学校の授業がわからないと思うことが「よくある」と答えた児童生徒の割合

- ・小5 困難世帯：16.5%、非困難世帯：8.7%、全体：10.0%
- ・中2 困難世帯：26.9%、非困難世帯：14.1%、全体：16.6%

② 将来、どの学校まで進学したいか（子ども問 27）

- ・小学生及び中学生ともに「大学」が3割を占め最も高く、次いで「高等学校」「専門学校」となっている。また、世帯区分2、困難世帯は「高等学校」の割合が最も高くなっている。

将来、進学したいのは「高等学校」と答えた児童生徒の割合

- ・小5 世帯区分1：17.4%、世帯区分2：26.0%、全体：18.5%
- ・中2 世帯区分1：19.3%、世帯区分2：34.7%、全体：21.6%

将来、進学したいのは「高等学校」と答えた児童生徒の割合

- ・小5 ひとり親世帯：22.2%、非ひとり親世帯：17.8%、全体：18.5%
- ・中2 ひとり親世帯：26.3%、非ひとり親世帯：20.3%、全体：21.6%

将来、進学したいのは「高等学校」と答えた児童生徒の割合

- ・小5 困難世帯：23.9%、非困難世帯：17.9%、全体：18.5%
- ・中2 困難世帯：31.5%、非困難世帯：19.7%、全体：21.6%

③ 将来、どの学校まで進学してほしいか（保護者問 27）

- ・小学生及び中学生ともに「大学」が3割を占め最も高く、次いで「高等学校」「専門学校」となっている。また、世帯区分2、困難世帯は「高等学校」の割合が最も高くなっている。

将来、進学してほしいのは「高等学校」と答えた保護者の割合

- ・小5保護者 世帯区分1：18.4%、世帯区分2：39.2%、全体：21.1%
- ・中2保護者 世帯区分1：22.4%、世帯区分2：45.9%、全体：25.5%

将来、進学してほしいのは「高等学校」と答えた保護者の割合

- ・小5保護者 ひとり親世帯：26.9%、非ひとり親世帯：19.9%、全体：21.1%
- ・中2保護者 ひとり親世帯：33.9%、非ひとり親世帯：23.6%、全体：25.5%

将来、進学してほしいのは「高等学校」と答えた保護者の割合

- ・小5保護者 困難世帯：37.1%、非困難世帯：18.8%、全体：21.1%
- ・中2保護者 困難世帯：42.6%、非困難世帯：22.6%、全体：25.5%

3 子どもの精神面について

① 自分には良いところがあると思うかどうか（子ども問 32）

- ・小学生では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が6割以上を占め、中学生では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は半数以上を占めている。また、小学生の困難世帯は非困難世帯より「そう思う」の割合が低くなっている。

自分には良いところがあるかについて「そう思わない」と答えた児童生徒の割合

- ・小5 世帯区分1：7.0%、世帯区分2：11.0%、全体：7.8%
- ・中2 世帯区分1：8.2%、世帯区分2：8.9%、全体：8.5%

自分には良いところがあるかについて「そう思わない」と答えた児童生徒の割合

- ・小5 ひとり親世帯：9.5%、非ひとり親世帯：7.1%、全体：7.8%
- ・中2 ひとり親世帯：9.6%、非ひとり親世帯：8.1%、全体：8.5%

自分には良いところがあるかについて「そう思わない」と答えた児童生徒の割合

- ・小5 困難世帯1：10.6%、世帯区分2：7.1%、全体：7.8%
- ・中2 困難世帯1：10.6%、世帯区分2：8.1%、全体：8.5%

② 勉強やスポーツ・特技などを頑張りたいと思うかどうか（子ども問 30）

- ・小学生及び中学生ともに「そう思う」が6割を占める。また、小学生及び中学生ともに、世帯区分2は世帯区分1より、困難世帯は非困難世帯より「そう思う」の割合が低くなっている。

勉強やスポーツ・特技などを頑張ることについて「そう思う」と答えた児童生徒の割合

- ・小5 世帯区分1：63.8%、世帯区分2：55.3%、全体：62.2%
- ・中2 世帯区分1：65.0%、世帯区分2：58.2%、全体：63.7%

勉強やスポーツ・特技などを頑張ることについて「そう思う」と答えた児童生徒の割合

- ・小5保護者 ひとり親世帯：58.7%、非ひとり親世帯：63.2%、全体：62.2%
- ・中2保護者 ひとり親世帯：60.5%、非ひとり親世帯：64.8%、全体：63.7%

勉強やスポーツ・特技などを頑張ることについて「そう思う」と答えた児童生徒の割合

- ・小5保護者 困難世帯：56.3%、非困難世帯：63.4%、全体：62.2%
- ・中2保護者 困難世帯：57.9%、非困難世帯：65.1%、全体：63.7%

4 世帯の経済状況や保護者自身について

① 世帯区分2のうち、ひとり親世帯の割合（クロス集計）

- ・ひとり親世帯のうち35%以上が世帯区分2となっており、非ひとり親世帯の約5%に比べて世帯区分2の割合が高くなっている。

ひとり親世帯の割合（小5）

- ・全体 世帯区分1：78.7%、世帯区分2：10.9%
- ・ひとり世帯 世帯区分1：52.1%、世帯区分2：35.9%
- ・非ひとり世帯 世帯区分1：84.2%、世帯区分2：5.7%

ひとり親世帯の割合（中2）

- ・全体 世帯区分1：78.7%、世帯区分2：10.9%
- ・ひとり世帯 世帯区分1：51.9%、世帯区分2：35.5%
- ・非ひとり世帯 世帯区分1：84.6%、世帯区分2：5.3%

② 15歳時の家庭の暮らし向き（保護者問29）

- ・保護者が15歳の頃の家庭の暮らし向きが「とても苦しかった」と答えた保護者の割合は、全体では、小学5年生の保護者及び中学2年生の保護者ともに、世帯区分2は世帯区分1より、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より、困難世帯は非困難世帯より高くなっている。

15歳の頃の暮らし向きが「とても苦しかった」と答えた保護者の割合

- ・小5保護者 世帯区分1：7.9%、世帯区分2：12.3%、全体：8.4%
- ・中2保護者 世帯区分1：8.1%、世帯区分2：13.8%、全体：8.7%

15歳の頃の暮らし向きが「とても苦しかった」と答えた保護者の割合

- ・小5保護者 ひとり親世帯：10.6%、非ひとり親世帯：8.0%、全体：8.4%
- ・中2保護者 ひとり親世帯：11.4%、非ひとり親世帯：8.1%、全体：8.7%

15歳の頃の暮らし向きが「とても苦しかった」と答えた保護者の割合

- ・小5保護者 困難世帯：19.8%、非困難世帯：6.9%、全体：8.4%
- ・中2保護者 困難世帯：21.7%、非困難世帯：6.6%、全体：8.7%

③ 子育ての困りごとに対する相談相手（保護者問33）

- ・ほとんどの保護者に子育ての困りごとを相談する相手がいるものの、「相談できる相手がいらない」と答えた保護者の割合は、小学5年生の保護者及び中学2年生の保護者ともに、世帯区分2は世帯区分1より、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より、困難世帯は非困難世帯より高くなっている。

子育ての困りごとについて「相談できる相手はいない」と答えた保護者の割合

- ・小5保護者 世帯区分1：0.8%、世帯区分2：2.9%、全体：1.1%
- ・中2保護者 世帯区分1：0.7%、世帯区分2：2.9%、全体：1.1%

子育ての困りごとについて「相談できる相手はいない」と答えた保護者の割合

- ・小5保護者 ひとり親世帯：3.6%、非ひとり親世帯：0.6%、全体：1.1%
- ・中2保護者 ひとり親世帯：3.8%、非ひとり親世帯：0.5%、全体：1.1%

子育ての困りごとについて「相談できる相手はいない」と答えた保護者の割合

- ・小5保護者 困難世帯：4.9%、非困難世帯：0.6%、全体：1.1%
- ・中2保護者 困難世帯：3.7%、非困難世帯：0.7%、全体：1.1%

④ 子どもに関する施策等の情報の入手媒体（保護者問 41）

- ・子どもに関する施策の入手媒体は、学校からのお便り又はメールという回答が多い。「行政機関の広報誌」と答えた保護者の割合は、小学5年生の保護者及び中学2年生の保護者ともに、世帯区分2は世帯区分1より、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より、困難世帯は非困難世帯より低くなっている。

子どもに関する施策の入手媒体を「行政機関の広報誌」と答えた保護者の割合

- ・小5保護者 世帯区分1：41.5%、世帯区分2：29.6%、全体：39.2%
- ・中2保護者 世帯区分1：38.9%、世帯区分2：26.4%、全体：36.7%

子どもに関する施策の入手媒体を「行政機関の広報誌」と答えた保護者の割合

- ・小5保護者 ひとり親世帯：30.7%、非ひとり親世帯：41.0%、全体：39.2%
- ・中2保護者 ひとり親世帯：27.0%、非ひとり親世帯：39.0%、全体：36.7%

子どもに関する施策の入手媒体を「行政機関の広報誌」と答えた保護者の割合

- ・小5保護者 困難世帯：29.2%、非困難世帯：40.9%、全体：39.2%
- ・中2保護者 困難世帯：28.3%、非困難世帯：38.2%、全体：36.7%